

(RAS遺伝子野生型)進行・再発大腸癌
 アービタックス+FOLFIRI療法 患者プロトコール

催吐リスク
中等度
放射線併用なし

投与プロトコール	投与量	投与日	投与時間	備考	
1クール 14日間 コース制限なし 《開始時基準 PS:0~1 年齢:18-75歳以下》					
ルートKeep プレメディ	生食 500mL ホラミン5mg+デキサメタゾン+5-HT3R拮抗剤+生食 100mL	Day1,8 Day1,8	— 30分	*Day8は5-HT3R拮抗剤なし	
①	アービタックス: 初回: 400mg/m ² 生食(500-アービタックス注入量)mL	初回 2回目以降	Day1,8	初回 2時間 2回目以降 1時間	
	2回目以降: 250mg/m ² 生食(250-アービタックス注入量)mL				
経過観察 (1時間)	アービタックス投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュ:アービタックスの投与速度と同じ速度(4mL/分)以下で。以降、infusion reactionの発現に注意し、1時間経過観察。				
②	イリノテカン: 150mg/m ² 5%ブドウ糖 500mL	Day1	2時間	5-FU:(持続)の投与量に 合せて、トレフューザー typeT流量換算表より生 食量を算出する。	
③	レポホリナート: 200mg/m ² 5%ブドウ糖ハック 250mL	Day1	2時間		
★②、③は同時に投与					
④	5-FU(急速静注):400mg/m ² 5%ブドウ糖 100mL	Day1	全開		
⑤	5-FU(持続静注):2400mg/m ² 生食 (トレフューザーtypeT流量換算表より算出)	Day1	46時間		
◆5-FU持続投与では、トレフューザーtypeT150mLを使用し、3.7ml/Hrにて投与。 ◆5-FUと生食の比率で流速変化する為、生食投与量はトレフューザーtypeT流量換算表を参照すること。					